



YKKAP、フラット屋根「エフルージュ」シリーズの商品拡充



YKKAPは、フラット屋根シリーズ「エフルージュ」の商品ラインアップを拡充し、新たにカーポート4アイテム、大型テラス屋根1アイテムを4月20日より発売する。2010年秋に1台用フラット屋根カーポート「エフルージュ」を発売して以来、継続的な商品拡充を図っており、同シリーズは全16アイテムとなった。「エフルージュ プラス」と「エフルージュ ツイン プラス」は、屋根を延長することにより、「車庫+αの空間」を確保したカーポート。「エフルージュ ワン50」と「エフルージュ ツイン50」は、「エフルージュ」シリーズとして初となる積雪50cm相当の耐積雪強度と、カーポートとして最高水準の耐風圧強度風速46m/秒という高強度を実現した。大型テラス屋根「エフルージュ 大型テラス」は、デッキ空間用の商品。「エフルージュ プラス」の代表価格は、39万7900円。

情報提供: 新建ハウジング

LIXIL、スタンダードクラスのカーポートを刷新-耐風圧強度 風速=42m/秒相当を標準化



LIXIL は、スタンダードクラスのカーポートを刷新し、耐風圧強度 風速=42m/秒相当を標準仕様とした新カーポート「フーゴ」を、2015年6月1日より発売します。あわせて、従来の耐風圧強度 風速=38m/秒相当を維持しつつ、使いやすさや意匠性を向上させたカーポート「ネスカ」を同日発売します。「フーゴ」のデザインは、ベーシックなラウンドスタイルの「フーゴR」、端正なフラットスタイルの「フーゴF」、LIXIL オリジナルデザインとなるアーチスタイルの「フーゴA」の3種類をご用意しています。人気デザインのフラットスタイル・アーチスタイルには、マテリアルカラー(木調色)の品揃えを図り、豊富なバリエーションでさまざまな住宅デザインに調和します。また、ワゴンやRV車など車高のある車も余裕で駐車ができる柱高さ H22 (約 2.2m) を標準柱に設定したほか、一般的な駐車スペースに合わせた奥行 54 サイズ (約 5.4m) を新たに設定し、敷地への対応力をさらに向上しています。

情報提供: LIXIL

LIXIL、既存壁の上から施工する耐震改修工法を開発 費用は従来のほぼ半額



LIXILは既存壁を生かした耐震改修を可能とするリフォーム工法「アラテクト」を開発した。アラミド繊維を用いたシートで壁の耐力を上げる。新工法は橋脚の補強などに利用されるアラミド繊維に樹脂を含浸させ厚さ1mm以下のシート状に加工した専用部材を使用する。既存の室内壁の上から専用の座金・ビスで固定する。シートはカッターなどで簡単に切れる。1981年以降に建てられた石膏ボード直張りの建物が主なターゲット。大がかりな工事が不要で、住みながら簡単に工事ができる。通常耐震改修工事の5~6割程度で実現できるという。柱が105mm角以上の壁に施工した場合の壁基準耐力は、大壁仕様の一般壁で5.3kN/mと構造用合板と同等。大壁仕様・入隅壁で4.9kN/m、真壁仕様は一般・入隅壁ともに4.8kN/m。一般財団法人日本建築防災協会(建防協)の技術評価を取得済み。設計・施工にはLIXILの行う技術講習の受講が必要。同社は4月から全国13会場で技術講習を展開する。

情報提供: 新建ハウジング

空き家古民家活用の潜在市場は約1.8兆円 政策投資銀が提言



日本政策投資銀行は4月9日、「古民家の活用に伴う経済的価値創出がもたらす地域活性化」と題した調査レポートを発行したと発表した。地域に残る古民家を活用することで経済的価値の創出を図るための提言としてまとめた。その中で、古民家活用の潜在的な市場規模は約1.8兆円と試算している。今回のレポートは昨年10月に公表した中間レポート「人を呼び、にぎわいを創り出す 古民家を活かした地域再生～空き家解消、定住促進の観点から～」の続編。古民家の修繕・リフォームなどの潜在的な市場規模と、外国人旅行者の古民家への宿泊が地域へもたらす経済効果に関する考察などが盛り込まれている。報告書では、古民家の空き家は約21万軒あると推計。再生には地元の大工や工務店が深く関与しており、大手ハウスメーカーは扱いにくいと分析している。

情報提供: 新建ハウジング